

# 学校概要

## ▶ 昭和49年創立

- (今年度48期生入学)

## ▶ 学校規模

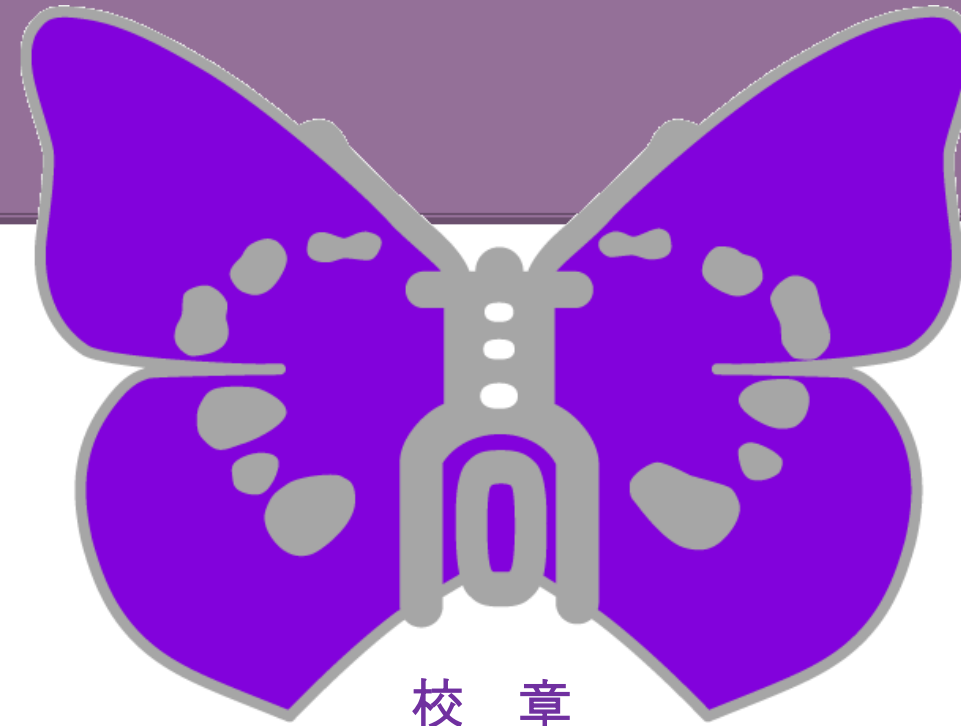
- 6クラス×3学年(生徒 710名)

## ▶ 授業

- 月～金 6時間・土曜授業あり(年間20回)
- 土曜講習・サポートティーチャー

## ▶ 自習室

- 早朝6:40～夜19:00(部活動は18:00まで)



校章  
おほむらさき(国蝶)

# 東京都からの指定校

【令和3年度 東京都教育委員会指定】

- ① 進学指導推進校
- ② 英語教育推進校
- ③ 理数研究校
- ④ アクティブ  
・ラーニング推進校



# 「進学指導推進校」

- ▶ 東京都から選ばれた進学校。
- ▶ 入学時から国公立大学を目指します！



# 「英語教育推進校」としての取組

- ▶ オーストラリア短期語学研修
- ▶ GTEC全員実施（1・2年生）
- ▶ 国際理解教育の推進
- ▶ TGG（Tokyo Global Gateway）



# 「理数研究校」としての取組

## ▶ 高大連携・大学訪問

- ・つくば研究学園都市訪問、東京大学薬学部見学

## ▶ 理数研究校講演会

- ・一昨年の講師：東京大学産学協創推進本部イノベーション推進部 工学博士
- ・昨年度・今年度：電通大より自主研究の取り組みについて、中村先生より講義

## ▶ 進路部との連携

- ・理数研ラボ、電通大レーザー実験、電通大ロボット製作教室、
- ・UECスクール「高大接続教室」昨年度3名・今年度3名

## ▶ 電気通信大学との自主研究の取り組み支援

# 探究活動（令和2年度より本格実施）

- ① 身の回りの興味や疑問から
- ② 課題（テーマ）を設定
- ③ 先行研究を踏まえて  
文献調査や実験
- ④ 得られた情報を分析
- ⑤ まとめ・発表

# 探究活動

## ▶ 1 学年

- グループ研究
- RESAS

## ▶ 2 学年～3 学年

- 個人研究
- 論文



Regional

Economy

Society

Analyzing

System

地域経済分析システム

||| サマリー

地方創生★  
政策アイデア

地方創生★政策アイデアコンテスト2020



# 東京都立調布北高等学校 グランドデザイン

## 《学校の教育目標》 □

- 自主自律 □ …生徒の情意に火を灯す
- 文武両道 □ …羽ばたく舞台を創出する
- 文理両眼 □ …将来を切り拓く学力を伸長する
- グッドトライ …挑戦する気概を醸成する

# フォロアーからチェンジメーカーに

## 《調布北高等学校における資質・能力 □ 3つのC の育成》

- Critical Thinking**  
(物事の本質を粘り強く問い続けながら主体的に考えること)
- Creative Thinking**  
(興味・関心を追求し、自由な発想、柔軟な思考をすること)
- Collaboration**  
(自己調整力を育成し、多様性を受け入れ、他者と発展的に協働すること)

## 《目指す学校の姿》

- 自主自律 □ □ 意図的・計画的な教育活動を組織的に実施します。その結果として、生徒の情意に火を灯す生徒主体の学校にします。優秀な生徒を導くのは教員集団であることを皆で共有し生徒の自主自律の精神を育成していく学校にします。
- 文武両道 □ □ 学校行事や部活動で培われる力を重視して生徒の帰属意識を高めていきます。また、受験は補欠なき団体戦であることを指導し、帰属意識のある生徒同士がチームとして一体となって文武両道を実践する学校にします。

## 《調布北高等学校コア・ルーブリック評価表》

	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
論理的思考力	現代社会の諸問題について、新しい視点から解説へのプロセスをまとめることが	現代社会の諸問題について、客観的根拠をもとに自分の意見を整理して述べるこ	現代社会の諸問題について、自分の意見を述べる	現代社会の諸問題について、気付くことができ



# 令和4年度入学生 教育課程表 (学校パンフレット参照)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		
1年	現代の国語		言語文化		地理総合		歴史総合		数学Ⅰ		数学A		物理基礎		生物基礎		体育		保健		芸術Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ		英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅰ		情報Ⅰ		総合的な探究の時間		LHR			
2年	論理国語		古典探究		世界史探究 日本史探究 文系必選		物理 生物 理系必選		公共		数学Ⅱ		数学B		数学C		化学基礎		体育		保健		芸術Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ		英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		家庭基礎		総合的な探究の時間		英語演習／数学演習	
3年	論理国語		政治・経済		体育		英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ		必修選択 古典探究(4)、地理探究(2)、 日本史探究(4)、世界史探究(4)、政治・経済(2)、 数学ⅠA演習(2)、数学ⅡBC演習(2)、数学Ⅲ(4)、 数学C(2)、物理(4)、化学(6)、生物(4)、体育(2)、 音楽総合(2)、演奏研究(2)、美術総合(2)、 生活の中の書(2)、英語演習(2)、 ファッション造形基礎(2)、情報Ⅱ(2)										自由選択 国語演習(2)、地理探究(2)、 政治・経済(2)、 数学ⅡBC演習(2)、 化学基礎演習(1)、 物理基礎演習(2)、物理(4)、 生物基礎演習(2)、生物(4)、 音楽理論(1)						総合的な探究の時間		LHR							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		

# 3年間の進路指導ビジョン

1 学年

基礎学力、志望分野の選択

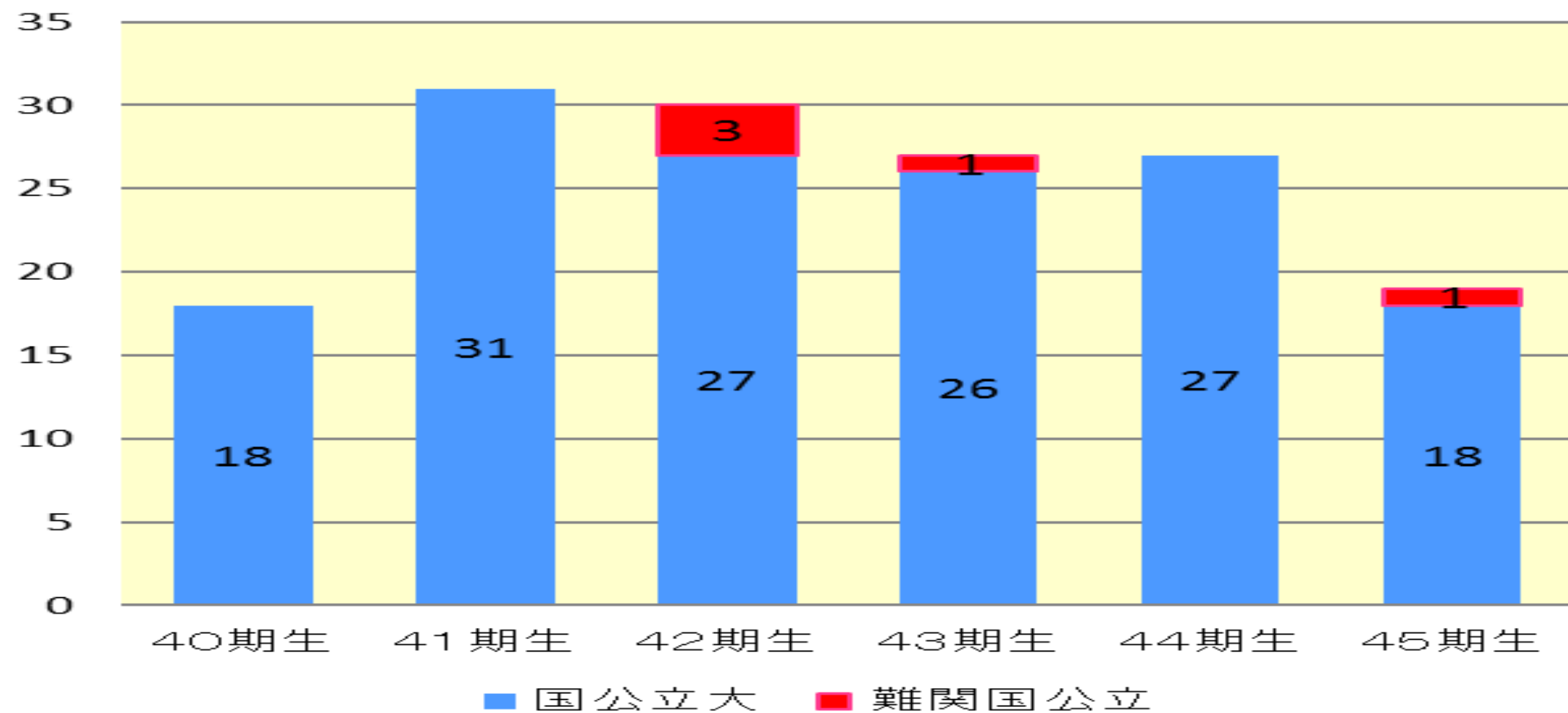
2 学年

学部・学科選択、第1志望の決定

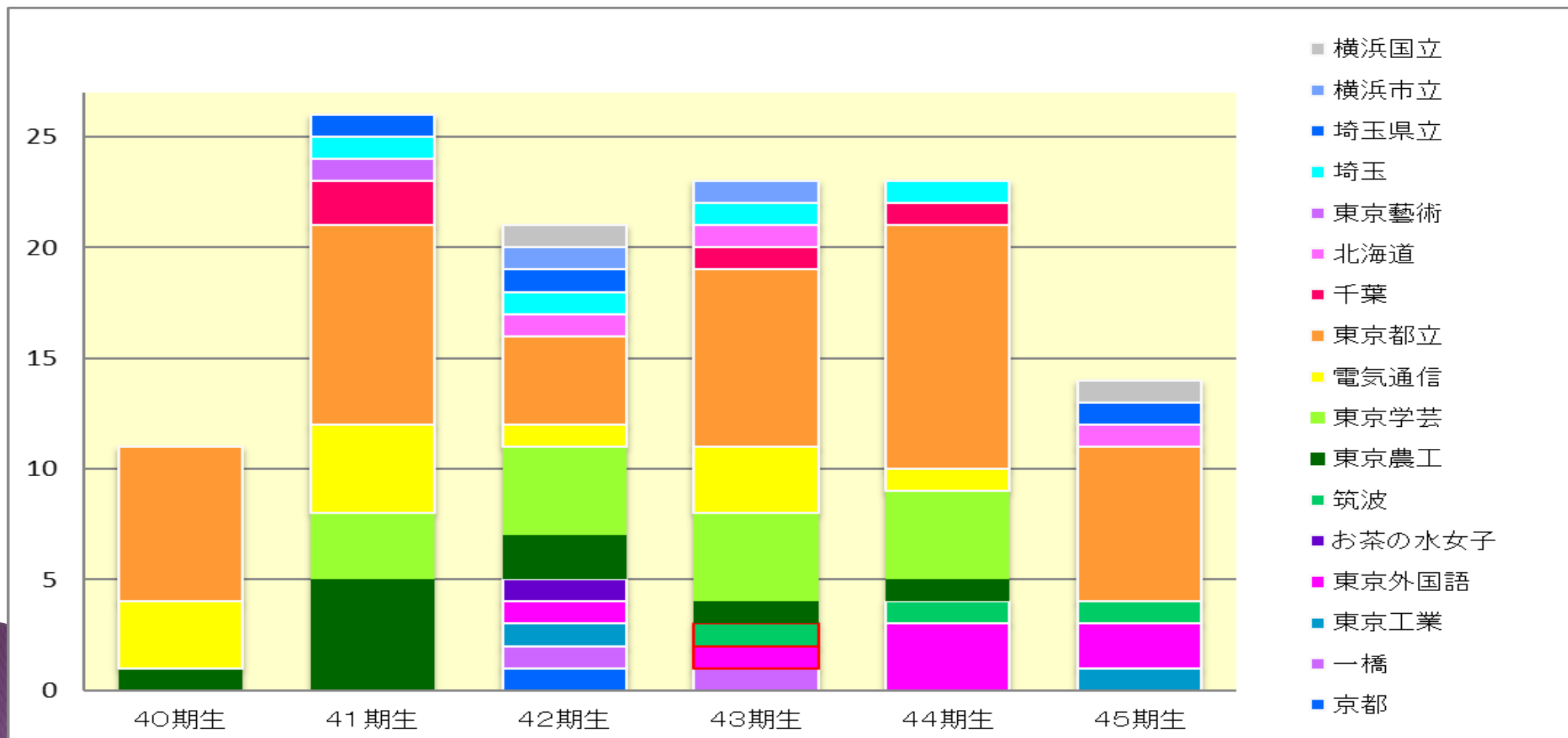
3 学年

夏に併願校調べ、冬に受験校の絞り込み

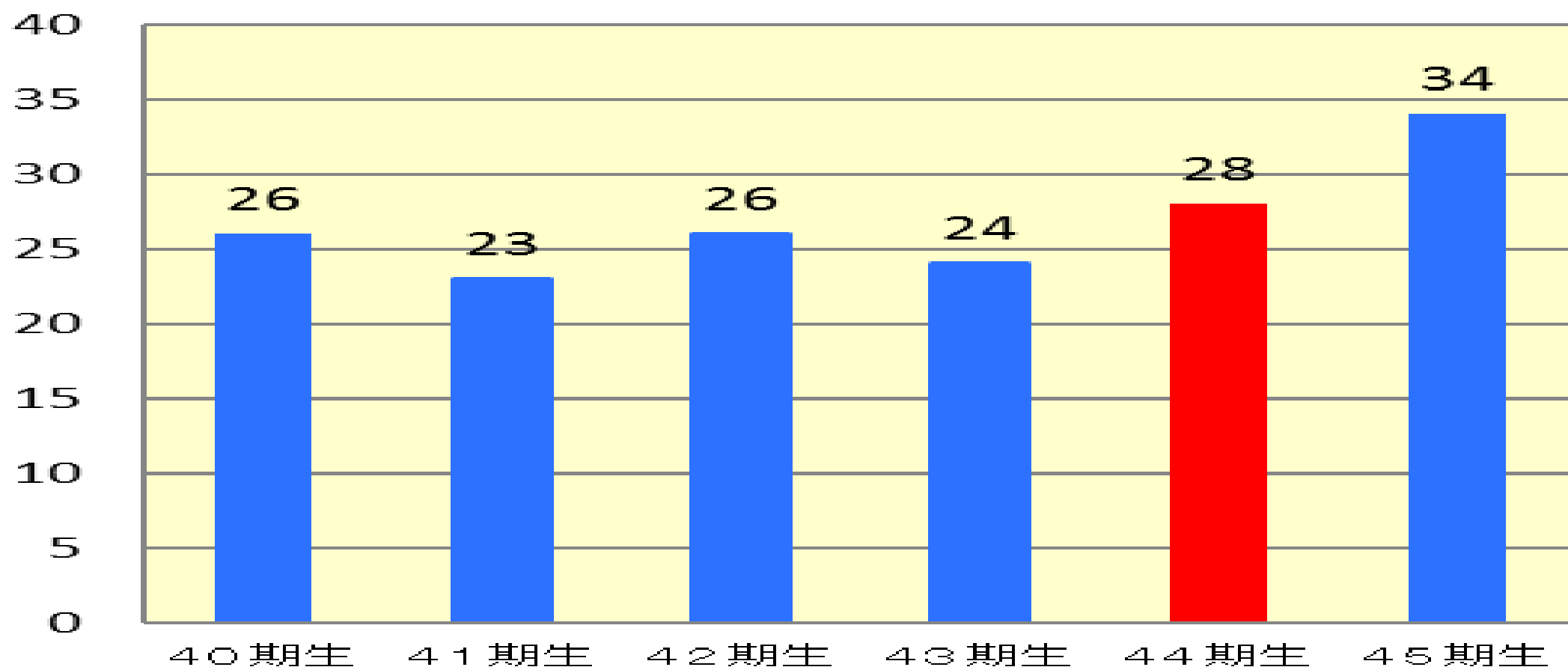
# 国公立大学推移 (現役生)



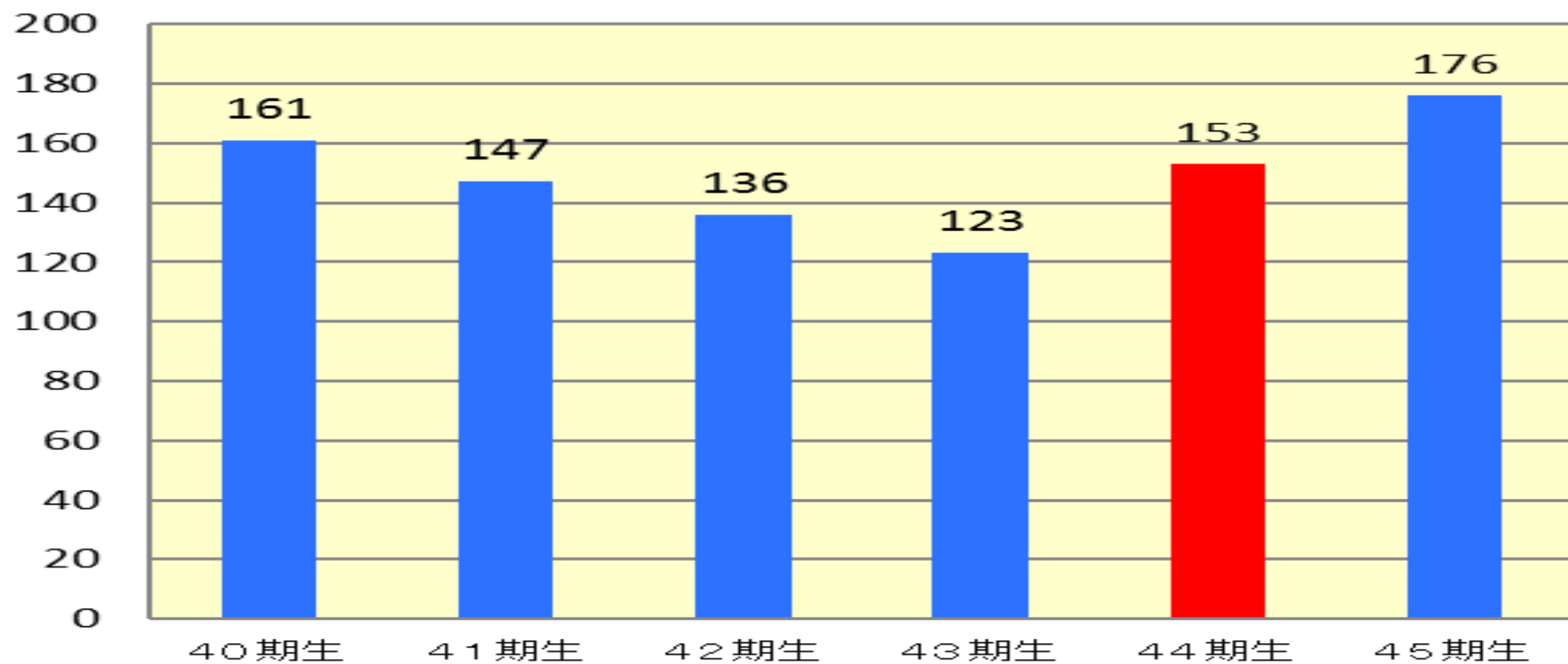
# 難関国公立 + 旧帝大 + 首都圏国公立



# 早慶上理



# MARCH



# 入学者選抜 注意事項

1. 出願は郵送にて実施する。中学校は、指定の郵便局に、郵便局留で提出する。
2. 推薦に基づく選抜は、2日で実施していた検査を1日で実施する。
3. 推薦に基づく選抜は、集団討論を実施しない。
4. 学力検査に基づく選抜は、中学校の臨時休業の実施状況を踏まえ、出題範囲について配慮をする。
5. 学力検査に基づく選抜では、男女緩和をする。
6. 合格者の発表は、校内の掲示に加え、Webサイトにも掲載する。
7. 入学手続きは、時差を設けて実施する。

# 1. 令和4年度 入学者選抜日程

	① 推薦に基づく選抜	② 学力検査に基づく選抜 (第一次募集)
願書 受付	令和4年1月12日(水)～ 1月17日(月) ※郵送による出願	令和4年1月31日(月)～ 2月4日(金) ※郵送による出願
検査日	1月26日(水) ※個人面接・小論文による選考	2月21日(月)
合格 発表	2月2日(水)	3月1日(火)



## 2. 令和4年度 募集人員

- ▶ 推薦は定員の20%、一般入試は定員の80%
- ▶ 一般は男女緩和する

	男子	女子	計
定員	123	113	236
推薦	24	22	46
一般	99	91	190

# 本校の期待する生徒の姿

本校は「進学指導推進校」として、将来を見すえた確かな学力を伸ばすため、組織的な進路指導・学習指導を実現し、理数教育・英語教育・国際理解教育・アクティブ・ラーニングの取組を充実させ、生徒の進路希望の実現を目指しています。また学校行事や部活動をとおして本校の生徒であることを意識させ、生徒同士がチームとなって文武両道を実践する学校を目指しています。さらに、人間とAIが共存する時代に向けて5教科全てを学ぶ意義を生徒に自覚させ、その結果として難関大学の合格者を増やしていくことを目指しています。以上のことを踏まえ、本校の期待する生徒の姿を以下に示します。

- ▶ 1 新たな時代をたくましく生きるために、自ら考え行動し、その効果を振り返り改善を図る習慣をもち続ける生徒
- ▶ 2 学業との両立を前提に、学校行事や部活動に参画し、限られた時間の中で最大限の効果を発揮し文武両道を実現する生徒
- ▶ 3 文理を問わず、様々な分野に知的探究心をもち、将来科学技術等の分野で活躍できる生徒
- ▶ 4 失敗を恥じることなく前向きに挑み続け、将来にわたって自ら学ぶ意欲を持続発展していく生徒

※特に推薦選抜においては、上記1から4の全てに該当する生徒が望ましい。

# 3. 令和4年度 推薦に基づく選抜

## ▶ 調査書 (500点)

- ・ 9教科の評定合計を500点に換算

(例) 評定合計42点の場合・・・ $42 \times 500 / 45 = 466.66$

## ▶ 個人面接 (200点)

## ▶ 小論文 (300点)

〈参考 昨年の作文問題 次スライド〉

1000点  
満点

# 〈参考〉令和3年度 小論文 問題

## ▶ 畑村洋太郎 「失敗学のすすめ」

ハンス・ロスリング オーラ・ロスリング アンナ・ロスリング・ロンランド著 上杉周作 関美和訳 「FACTFULNESS」より出題

## ▶ 設問

問一 傍線①「人は失敗とつき合い続けていかなければなりません」とあるが、それはどのようにすることか、八〇字以内で説明しなさい。（句読点を含む）

問二 傍線②「犯人捜し本能は役に立たない」とあるが、「犯人捜し本能」を克服するため、筆者は悪い事に対しどうすればよいと述べているか、六〇字以内で説明しなさい。（句読点を含む）

問三 A、Bの文章を読んで、「失敗」や「悪い事」が起きたときにどのようにして対処すべきだと考えますか。経験や見聞、例などを必ず用いて、あなたの考えを三五〇字以上四〇〇字以内で述べなさい。なお文章AやBを示したいときにはA,Bと記述すること。（題名や氏名は書かず、一行目からマスあけて書き始めること）

# 推薦に基づく選抜 倍率

▶ 募集人員（男子24名 女子22名）に対する倍率

年度	男子 応募人数	男子 倍率	女子 応募人数	女子 倍率
H30	34	1.42	51	2.32
H31	41	1.71	44	2.00
R2	39	1.63	57	2.59
<b>R3</b>	<b>52名</b>	<b>2.17倍</b>	<b>65名</b>	<b>2.95倍</b>

# 〈参考〉推薦に基づく選抜 内申

▶ 応募者全体の素内申の平均

年度	男子	女子	全体
H30	37.3	39.3	38.3
H31	36.7	39.4	38.1
R2	36.4	39.4	38.2
<b>R3</b>	<b>37.2</b>	<b>39.3</b>	<b>38.4</b>

# 4. 令和3年度 学力検査に基づく選抜

## ▶ 学力検査 700点

- ・ 5教科（国語・数学・英語・社会・理科）  
⇒500点満点を700点に換算

## ▶ 調査書 300点

- ・ 学力検査を実施する5教科 1倍
- ・ 学力検査を実施しない4教科 2倍  
⇒65点満点を300点に換算

1000点  
満点

# 学力検査に基づく選抜 倍率

▶ 学力検査に基づく選択の倍率 ( ) 募集人数

年度	男子 応募人数	男子 倍率	女子 応募人数	女子 倍率
H30	153 ( 99)	1.55	129 ( 91)	1.42
H31	152 ( 99)	1.54	148 ( 91)	1.63
R2	147 ( 98)	1.50	164 ( 92)	1.78
<b>R3</b>	<b>155名(99)</b>	<b>1.57倍</b>	<b>158名(91)</b>	<b>1.74倍</b>



# 〈参考〉学力検査に基づく選抜 内申

▶ 応募者全体の素内申の平均

年度	男子	女子	全体
H30	34.3	37.2	35.6
H31	33.6	37.1	35.4
R2	34.3	36.8	35.7
<b>R3</b>	<b>34.0</b>	<b>37.6</b>	<b>35.9</b>

# 〈参考〉学力検査に基づく選抜 得点

## ▶ 応募者全体の得点平均

男子	国語	数学	英語	社会	理科	計
H30	77.2	83.1	92.1	81.6	81.8	415.7
H31	79.2	76.5	77.9	70.2	84.5	388.2
R2	86.1	83.6	74.8	77.9	72.8	395.2
<b>R3</b>	<b>80.1</b>	<b>70.9</b>	<b>75.1</b>	<b>74.3</b>	<b>67.2</b>	<b>367.7</b>
女子	国語	数学	英語	社会	理科	計
H30	80.3	82.8	92.5	76.9	80.3	412.8
H31	82.4	74.0	77.7	68.0	81.2	383.4
R2	90.6	80.1	77.6	70.7	70.2	389.2
<b>R3</b>	<b>83.8</b>	<b>67.5</b>	<b>77.6</b>	<b>71.7</b>	<b>65.4</b>	<b>365.9</b>

# 令和4年度入学生から、 生徒一人1台端末を活用した新たな学びが始まります！！

都立学校では、全校に無線LANを整備し、教育活動のあらゆる場面において、生徒所有の一人1台端末を活用することにより、一人ひとりの力を最大限に伸ばしていきます。

## デジタルを活用した教育

生徒の学びを変革し、主体的・対話的に学ぶ新しい教育を提供していきます。  
また、いつでもどこでも学習ができる、学びを止めない環境を提供します。

＜ 端末を活用した学習等の実践例 ＞

オンライン学習を  
活用した対面授業の充実



オンラインでの  
外部講師による授業



クラウドを活用した  
意見交換・発表



## 高校段階の学習にふさわしい端末整備の考え方

- ・ 進路実現に向けた資格取得など、学校内外で自在に活用できる端末
- ・ 授業における学びやすさ・教えやすさの点から学校単位で同一の仕様の端末

## 端末の導入について

- ・ **令和4年度入学生の皆さんから、入学時に端末を購入していただきます。**
- ・ 合格発表後に、専用サイトから購入いただけるよう御案内します。
- ・ 端末は**自宅でも自由に活用いただけ、卒業後もそのまま活用可能**です。

## 保護者支援策について

- ・ **全世帯を対象に、端末購入の負担額が一定となる補助制度を創設**します。
- ・ 給付型奨学金を活用し、保護者負担に十分配慮していく予定です。

## 今後の予定

端末購入の仕組みや購入費用の保護者支援策の詳細については、今後、情報教育ポータルサイトや都立高等学校等合同説明会等でお知らせします。